

# データヘルス計画

## 第3期計画書

---

最終更新日：令和6年03月28日

静岡県農業団体健康保険組合

# STEP 1-1 基本情報

組合コード	55122
組合名称	静岡県農業団体健康保険組合
形態	総合
業種	複合サービス業

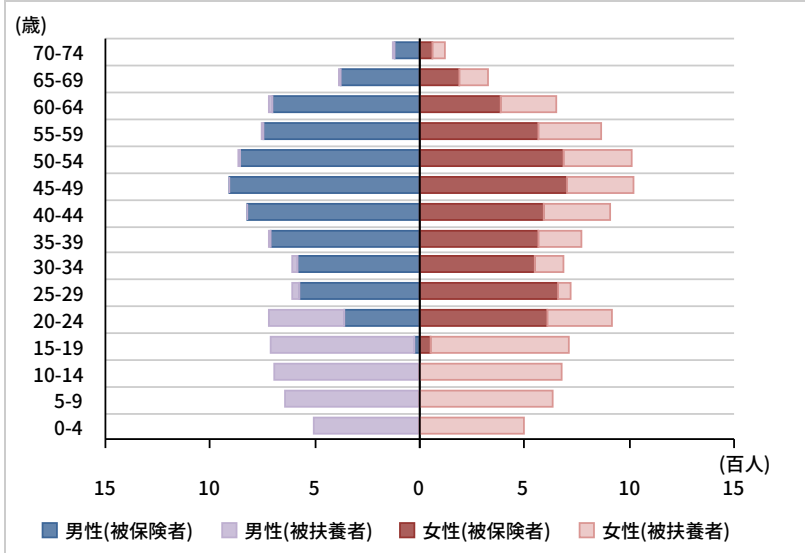
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	12,411名 男性54.677% (平均年齢45.76歳) * 女性45.3% (平均年齢42.28歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	20,321名	-名	-名
適用事業所数	44カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	44カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	10‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	4	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	10	-	-	-	-
	保健師等	2	4	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	7,950 / 9,204 = 86.4 %	
	被保険者	7,117 / 7,277 = 97.8 %	
	被扶養者	833 / 1,927 = 43.2 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	368 / 1,400 = 26.3 %	
	被保険者	361 / 1,323 = 27.3 %	
	被扶養者	7 / 77 = 9.1 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	6,895	556	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	5,400	435	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	38,291	3,085	-	-	-	-
	疾病予防費	112,985	9,104	-	-	-	-
	体育奨励費	12,250	987	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	34,700	2,796	-	-	-	-
	小計 …a	210,521	16,962	0	-	0	-
経常支出合計 …b	0	0	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	-	-	-	-	-	-	

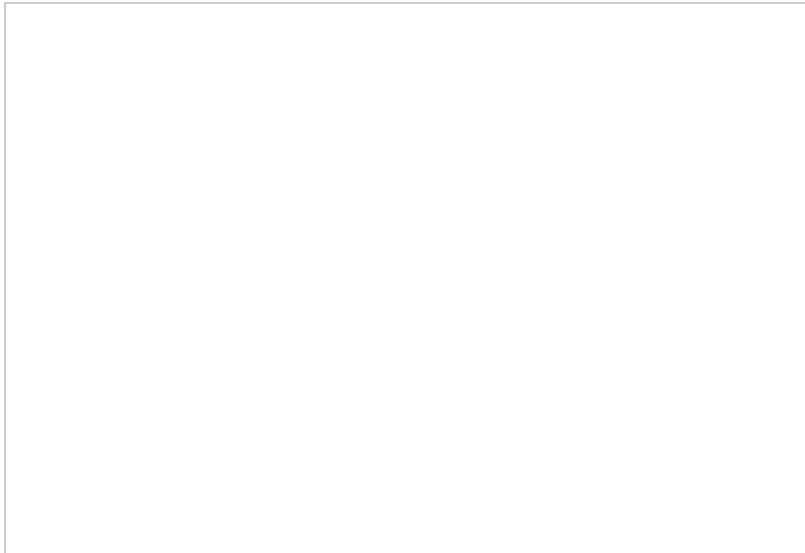
令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



## 男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	23人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	358人	25～29	577人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	586人	35～39	713人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	820人	45～49	909人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	858人	55～59	744人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	704人	65～69	373人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	121人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	55人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	609人	25～29	659人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	551人	35～39	568人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	593人	45～49	703人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	684人	55～59	565人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	382人	65～69	192人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	63人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	509人	5～9	645人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	694人	15～19	683人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	358人	25～29	34人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	24人	35～39	12人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	4人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	6人	55～59	6人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	19人	65～69	7人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	9人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	493人	5～9	637人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	678人	15～19	661人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	306人	25～29	64人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	133人	35～39	209人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	314人	45～49	313人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	327人	55～59	297人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	266人	65～69	139人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	57人			70～74	-人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

- ・被保険者：全体の人数は年々減少しているが、男性の65歳以上、女性の45歳以上は増加傾向にある。
  - ・被扶養者：全体の人数は年々減少している。未成年者が全体の63%を占め、成人のほとんどは女性である。（扶養率63.73%）
  - ・特定健診：被保険者の受診率はほぼ100%であるが、任意継続被保険者及び被扶養者は40%代で推移しており、向上の余地がある。
  - ・特定保健指導：被保険者の動機づけ支援実施率は50%前後、積極的支援実施率は15%前後、で推移している。被扶養者は指導対象者が少ないこともあり、ほとんど実施していない。
- ※被保険者及び被扶養者数は、令和5年12月末現在の人員

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

#### 事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	事業所と健保組合の連携による健康づくり（コラボヘルス）の推進
加入者への意識づけ	
特定保健指導事業	情報提供
保健指導宣伝	食に関する啓発活動
保健指導宣伝	歯の健康の重要性を啓発
体育奨励	体力づくりの推進
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査一部負担金の交付
特定保健指導事業	保健師による特定保健指導の実施
保健指導宣伝	新採用者への健康教育
保健指導宣伝	個人向け禁煙プログラムの実施
保健指導宣伝	口腔衛生教育の実施
保健指導宣伝	34歳への健康教育
保健指導宣伝	血糖値・血圧値の基準超過者の指導
事業主の取組	
1	定期健康診断
2	健康診断事後に行う保健指導
3	メンタルヘルス窓口の設置
4	職場内健康づくり事業
5	インフルエンザ等予防接種事業

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	1	事業所と健保組合の連携による健康づくり(コラボヘルス)の推進	事業所と健康課題を共有し、事業所の健康づくり目標の策定支援や健康経営の取組支援、健康経営優良法人申請手続き支援などのサポートを行う	全て	男女	0～74	その他	--	-	-	-	-
加入者への意識づけ												
特定保健指導事業	2	情報提供	・メタボ該当者・予備群の割合を第3期計画末までに20.0%以下とする ・男性被保険者の喫煙率を第3期計画末までに30.0%以下とする ・被保険者食事がかみにくい・ほとんど噛めない人の割合を第3期計画末までに10%以下とする	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-	-
保健指導宣伝	2	食に関する啓発活動	加入者の食生活の改善	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-	-
	2,5	歯の健康の重要性を啓発	口腔衛生に関するヘルスリテラシーの向上	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-	-
体育奨励	2	体力づくりの推進	「農団けんぼウォーキングラリー」をきっかけに、運動が習慣化されている人を増加させる	全て	男女	0～74	被保険者	--	-	-	-	-
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査一部負担金の交付	特定健康診査の受診率は第3期計画末まで85.0%以上とする	全て	男女	39～74	加入者全員	--	-	-	-	-
特定保健指導事業	4	保健師による特定保健指導の実施	特定保健指導の実施率は第3期計画末まで30.0%以上とする	全て	男女	39～74	加入者全員	--	-	-	-	-
保健指導宣伝	2,5	新採用者への健康教育	生活習慣病や歯周疾患の発症及び重症化を予防する。	全て	男女	15～74	被保険者	--	-	-	-	-
	1,2,4,6	個人向け禁煙プログラムの実施	男性被保険者喫煙率を減少	全て	男女	20～74	被保険者	--	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	2,5	口腔衛生教育の実施	歯周疾患の発症及び重症化予防	全て	男女	0～34	被保険者	--	-	-	-	
	2,5	34歳への健康教育	生活習慣病の発症及び重症化予防	一部の事業所	男女	34～34	被保険者	--	-	-	-	
	2,4	血糖値・血圧値の基準超過者の指導	高血糖・高血圧のリスク者の低減	全て	男女	16～74	被保険者	--	-	-	-	

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業


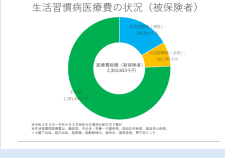
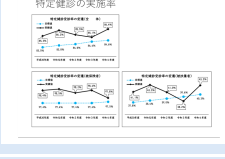
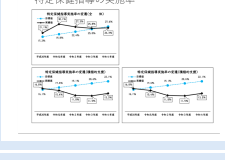
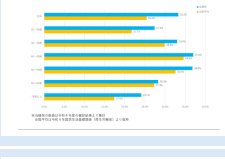
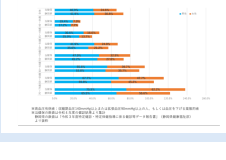
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

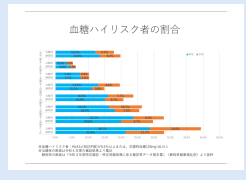
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	労安法に基づく健診	被保険者	男女	16 ～ 74	-	勤務時間中の巡回健診車での受診ができる	-	有
健康診断事後に行う保健指導	要精密検査の検査結果、要治療の受診結果の把握、生活習慣指導	被保険者	男女	16 ～ 74	要精密検査対象者への受診勧奨（被保険者） 健診機関や健保組合と健診後の健康相談や保健指導における日程調整	健診結果を事業所・健診医療機関・健保組合で共同利用しているため、情報連携が取りやすい。	-	有
メンタルヘルス窓口の設置	EAPセンター外部委託契約等	被保険者	男女	- ～ -	-	-	メンタルヘルス窓口を設置する事業所が増加しない。	無
職場内健康づくり事業	職場内健康づくり事業所の実施	被保険者	男女	- ～ -	-	-	日程調整や参加者集めができないため実施できない事業所が多い。	無
インフルエンザ等予防接種事業	インフルエンザ予防接種事業 新型コロナウイルス予防接種事業	被保険者	男女	- ～ -	-	事業継続計画の面からも、事業所が積極的に取り組んでいる。	事業の評価が難しい	無



# STEP 1-3 基本分析

## 登録済みファイル一覧

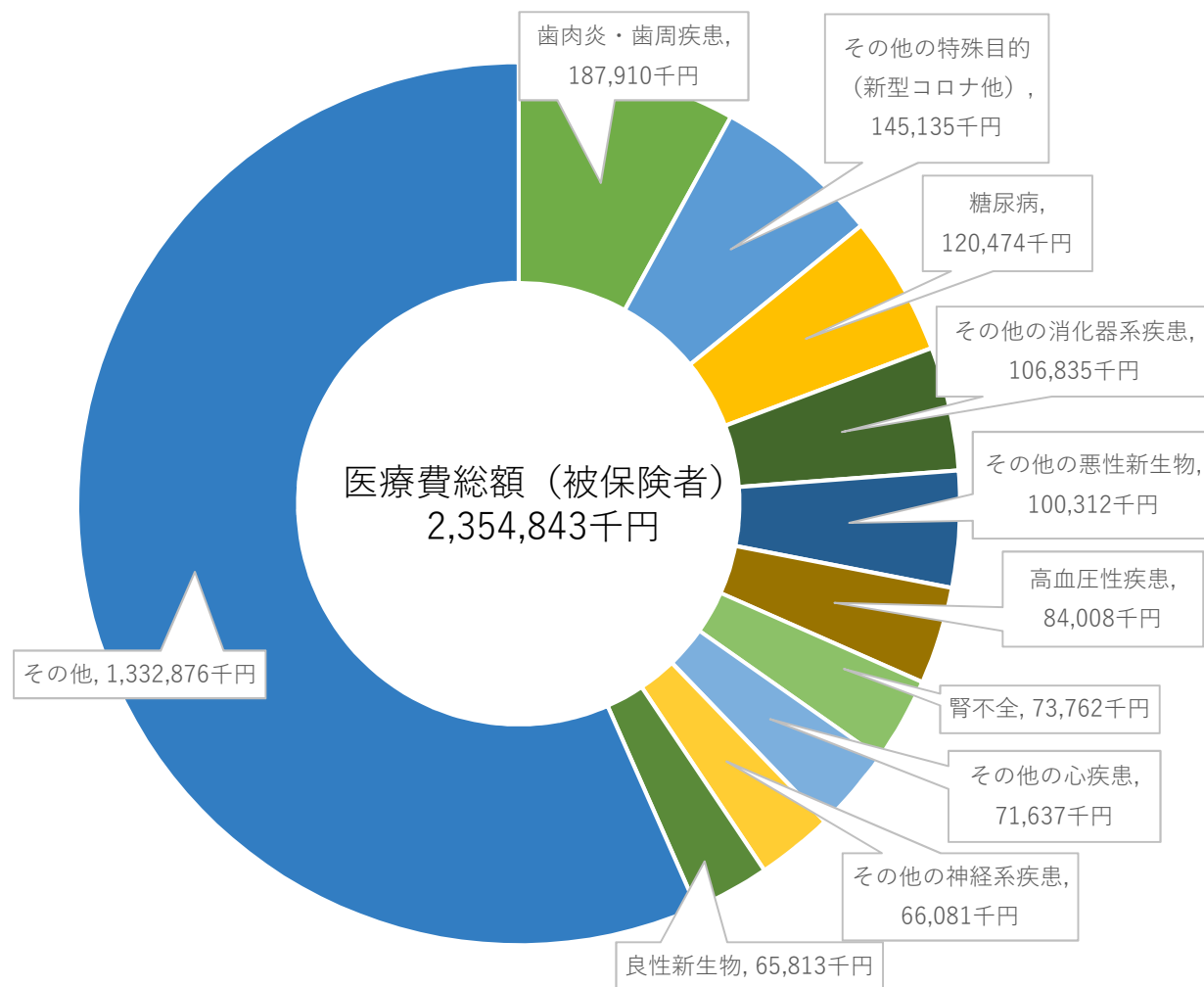
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		医療費上位10疾患	医療費・患者数分析	-
イ		生活習慣病医療費の状況	医療費・患者数分析	-
ウ		特定健診実施率経年変化	特定健診分析	-
エ		特定保健指導実施率推移	特定保健指導分析	-
オ		男性被保険者の喫煙率	健康リスク分析	-
カ		高血圧有病者の割合	健康リスク分析	-



血糖ハイリスク者の割合

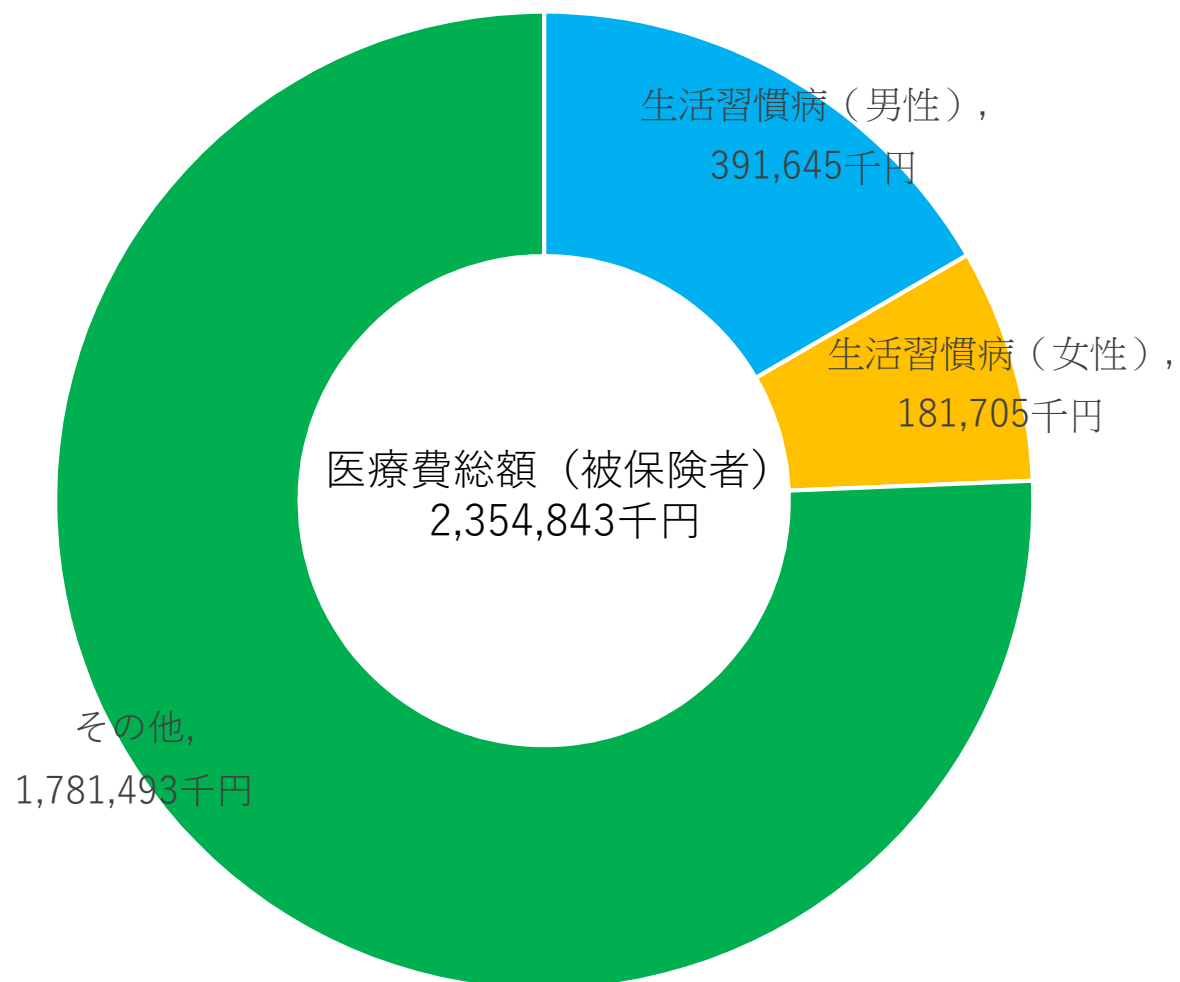
健康リスク分析

# 医療費上位10疾患（被保険者）



※令和4年3月～令和5年3月受診分を傷病分配方式で集計

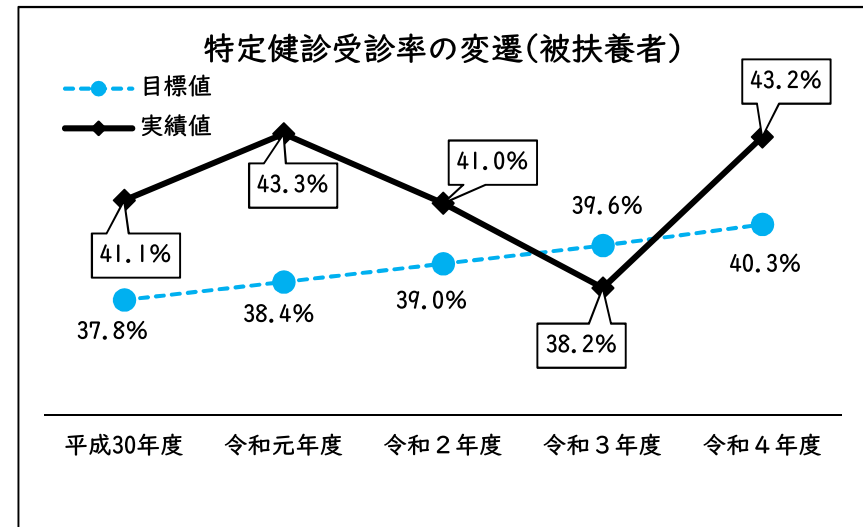
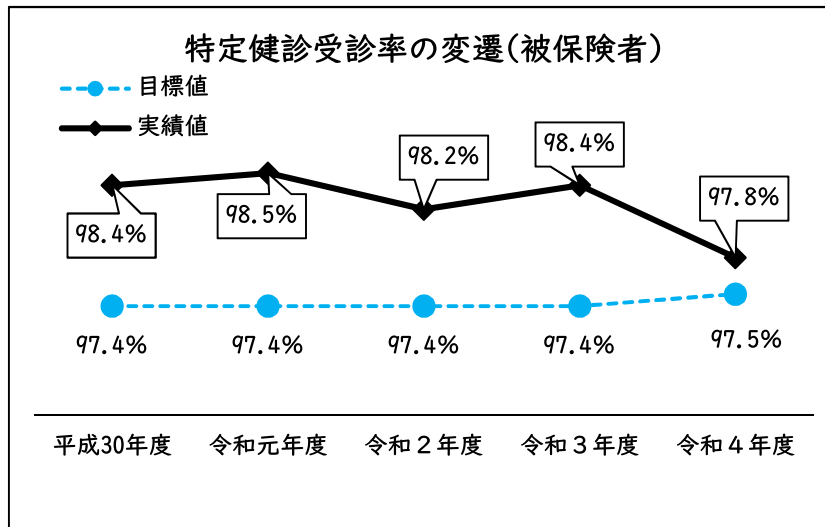
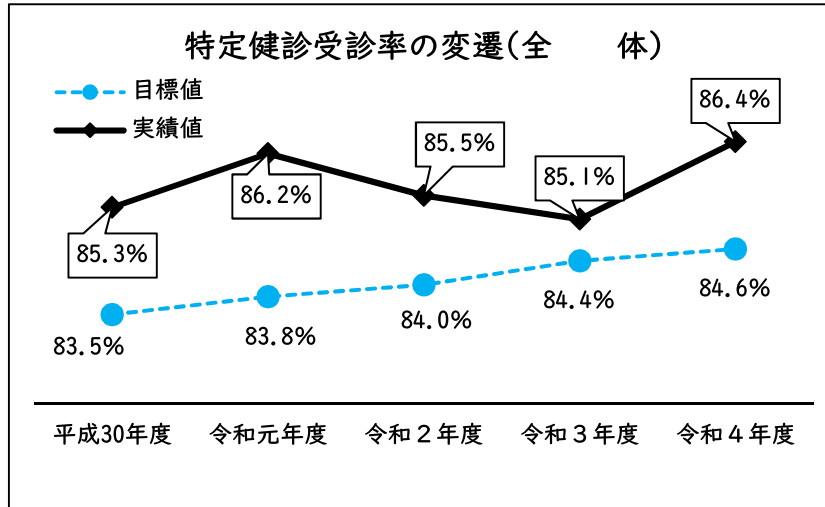
# 生活習慣病医療費の状況（被保険者）



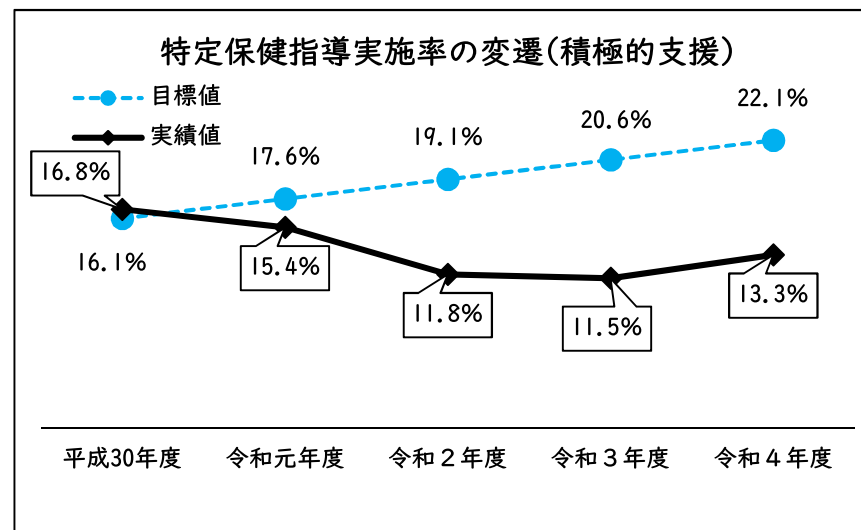
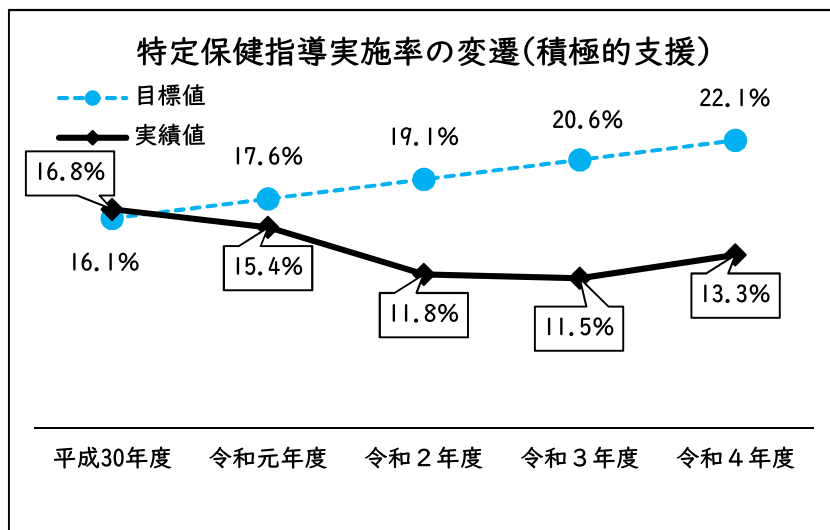
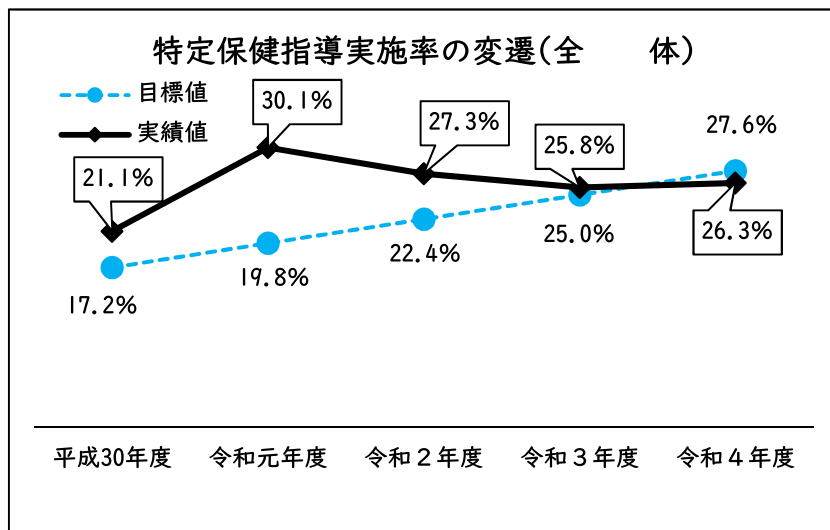
※令和4年3月～令和5年3月受診分を傷病分配方式で集計

※生活習慣病医療費は、糖尿病、内分泌・栄養・代謝疾患、高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化、歯肉炎・歯周疾患、腎不全とした

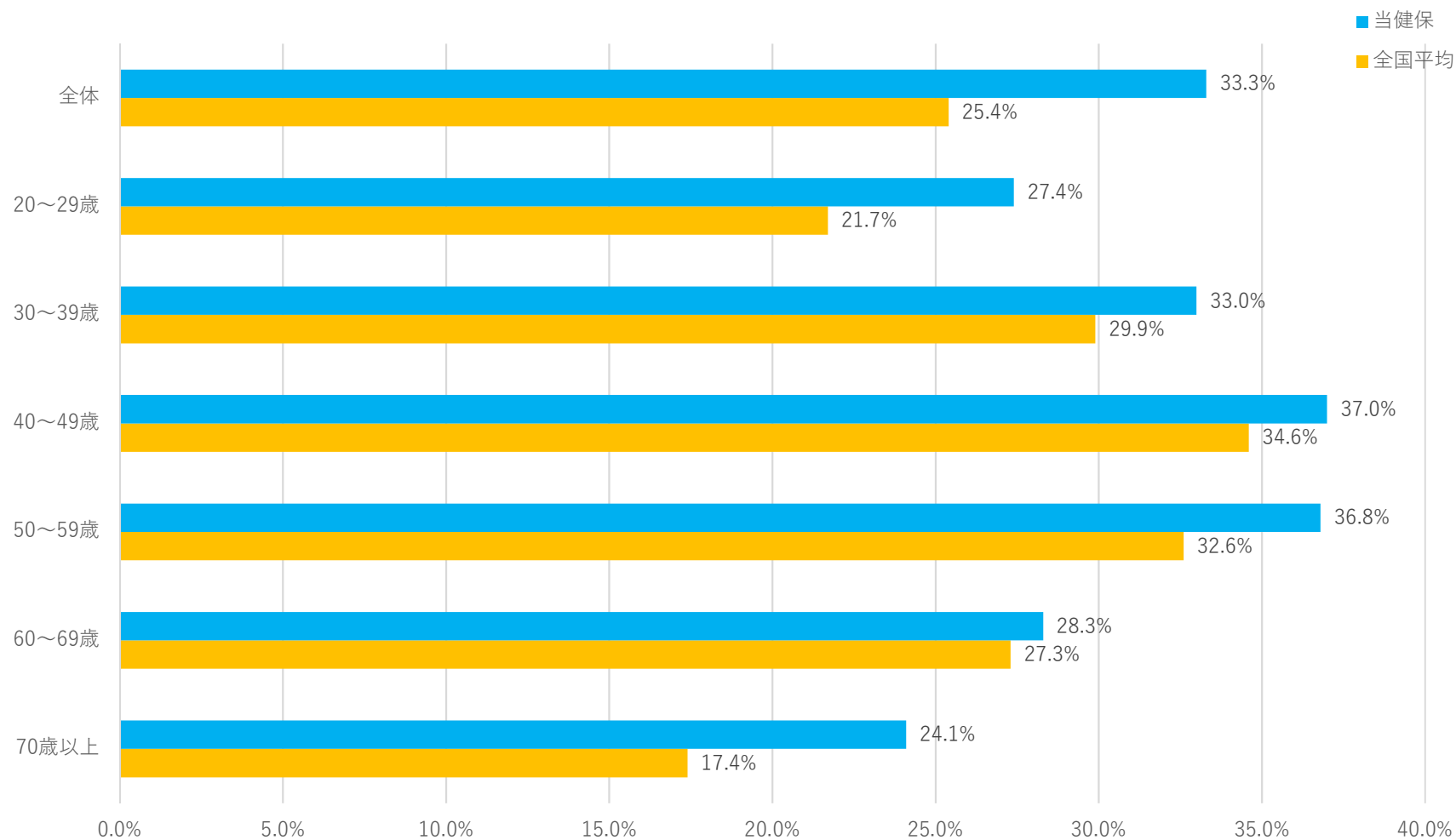
# 特定健診の実施率



# 特定保健指導の実施率

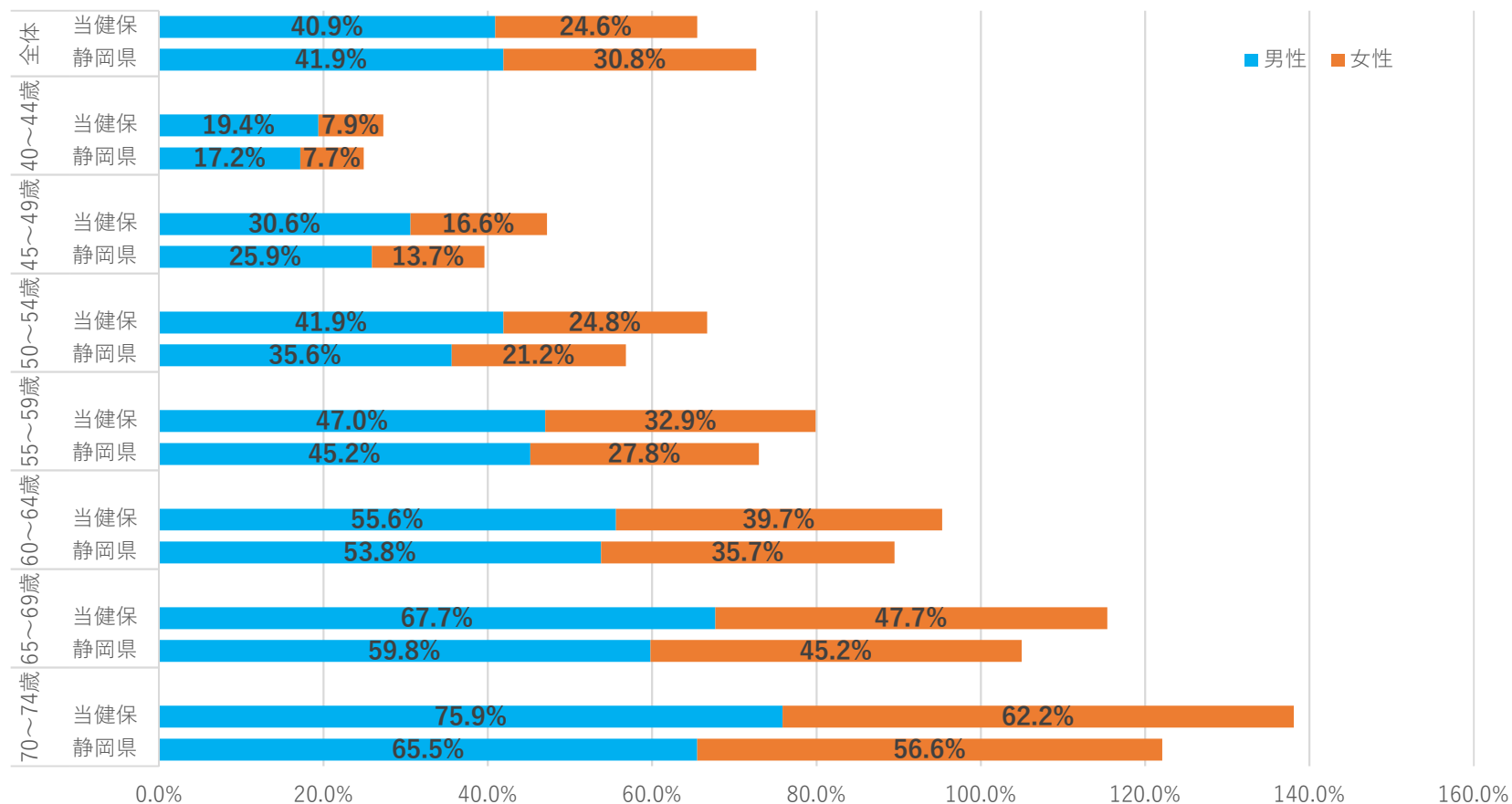


# 令和4年度 喫煙率（被保険者・男性）



※当健保の数値は令和4年度の健診結果より集計  
全国平均は令和4年国民生活基礎調査（厚生労働省）より抜粋

# 高血圧有病者の割合



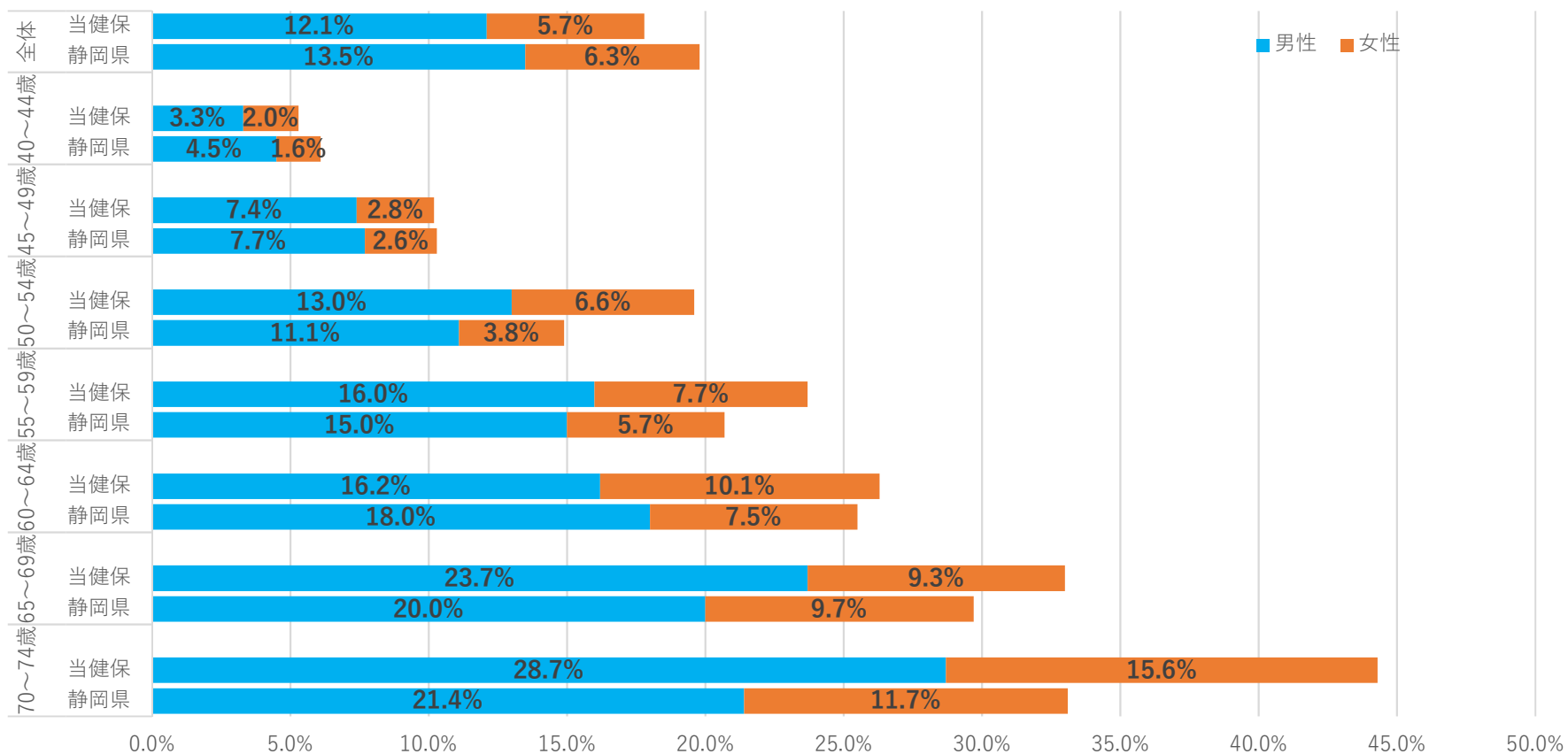
※高血圧有病者：収縮期血圧140mmHg以上または拡張血圧90mmHg以上の人、もしくは血圧を下げる薬服用者

※当健保の数値は令和4年度の健診結果より集計

静岡県の数値は「令和3年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」（静岡県健康福祉部）より抜粋



# 血糖ハイリスク者の割合



※血糖ハイリスク者：HbA1c(NGSP値)が6.5%以上または、空腹時血糖126mg/dLの人

※当健保の数値は令和4年度の健診結果より集計

静岡県の数値は「令和3年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」(静岡県健康福祉部)より抜粋

## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	イ	男性の生活習慣病医療費が高い。	➔	生活習慣病は予防対策が可能であり、当健保の健康診査や人間ドック等のデータからリスク保持者の特定が可能です。 健康レベルの改善という介入効果が期待される疾患として、メタボや高血圧・高血糖の方など、生活習慣病のリスクレベルに応じた対策を講じます。	✓
2	ウ	被扶養者の特定健康診査の受診率が低い。	➔	特定健康診査は自らの健康状態を知る貴重な機会であり、結果によって、特定保健指導や医療機関への受診勧奨といったリスク者対策が可能となるため、被扶養者個人に向けて情報を発信していく。	
3	カ, キ	血圧値・血糖値のリスク保持者の割合が高い。	➔	生活習慣病は予防対策が可能であり、当健保の健康診査や人間ドック等のデータからリスク保持者の特定が可能です。 健康レベルの改善という介入効果が期待される疾患として、メタボや高血圧・高血糖の方など、生活習慣病のリスクレベルに応じた対策を講じます。	✓
4	オ	男性被保険者の喫煙率が高い。	➔	禁煙をすることによって、喫煙者の肺がん等の発症リスクを減少させ、生活習慣病のリスク軽減も期待できるため、個人に向けた禁煙支援策を講じるとともに、事業所と協働で職場の禁煙支援策を実施します。	✓
5	ア	被保険者の歯科医療費が高い。	➔	歯肉炎や歯周疾患は、日常生活におけるケアによって予防が可能です。 また、生活習慣病や認知症の発症予防も期待される疾患として、これらの疾患の発症・重症化予防対策を講じます。	✓
6	未選択	メタボ該当者及び予備軍の割合が高い。	➔	生活習慣病は予防対策が可能であり、当健保の健康診査や人間ドック等のデータからリスク保持者の特定が可能です。 健康レベルの改善という介入効果が期待される疾患として、メタボや高血圧・高血糖の方など、生活習慣病のリスクレベルに応じた対策を講じます。	✓

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入事業所は静岡県内にあり、加入者のほとんどは県内在住者。</li> <li>各事業所の担当部署を通じ事業を実施しており、協力を得られやすい。</li> <li>被保険者は男性55%、女性45%で、各年代の人数に大きな偏りはない。</li> <li>60歳以上の被保険者が年々増加傾向にある。</li> <li>健診は、医療機関を持つ加入事業所（厚生連）があるため、当該事業所の医療機関（系統利用）での受診者がほとんどである。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、基本的に事業所の担当部署を通じて保健事業を実施する。</li> <li>各事業所ともに事業所単位で協力を受け実施していく。</li> <li>男女・年代で大きな偏りがいないため、保健事業の効果を高めるために、計画的にサイクル的に実施していく。</li> <li>高齢被保険者向けの対策が必要。</li> <li>系統健診機関と連携を強化し、利用を促進しながら事業を実施していく。</li> </ul>

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専属の保健師がいるため、事業所や加入者に対してきめ細かな対応がしやすい。</li> <li>・特定健診・特定保健指導に特化せず、健康相談を含め、多岐にわたって事業を実施している。</li> <li>・データヘルス計画から、各年度の事業を実施している。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も広範囲な事業展開を基本とするが、中期計画の実践も踏まえた必要な事業への傾注は行っていく。（第4期特定健診等実施計画による特定健診・特定保健指導の充実等）</li> </ul>

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

- ①メタボ該当者・予備軍の割合を減少させる
- ②男性被保険者の喫煙率を減少させる
- ③特定保健指導の実施率を向上させる
- ④特定健康診査の受診率を維持する
- ⑤定期的な歯・口腔内のメンテナンスを推奨し、歯科医療費を減少させる

### 事業全体の目標

- ①メタボ該当者・予備軍の割合を第3期計画末までに20.0%以下とする
- ②男性被保険者の喫煙率を第3期計画末までに30.0%以下とする
- ③特定保健指導の実施率を第3期計画末までに30.0%以上とする
- ④特定健康診査の受診率は第3期計画末まで85%以上を維持する
- ⑤被保険者の食事が噛みにくい・ほとんど噛めない人の割合を10%以下にする

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

保健指導宣伝	事業所との健康課題の共有
--------	--------------

#### 加入者への意識づけ

特定保健指導事業	情報提供
保健指導宣伝	食に関する啓発活動
保健指導宣伝	歯の健康の重要性を啓発
体育奨励	体力づくりの推進

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査一部負担金の交付
特定保健指導事業	保健師による特定保健指導の実施
保健指導宣伝	新採用者への健康教育
保健指導宣伝	個人向け禁煙プログラムの実施
保健指導宣伝	口腔衛生教育の実施
保健指導宣伝	34歳への健康教育
保健指導宣伝	血糖値・血圧値の基準超過者の指導

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
保健指導 宣伝	1	既存	事業所との健康課題の共有	一部の事業所	男女	0～74	その他	1	イ,ウ,エ	-	ア	-	特定健診等の質問票や健診結果、レセプト情報等に基づく事業所ごとの健康課題を資料化し、事業所が開催する安全衛生委員会や健康管理担当部署長を訪問し説明を行います。	特定健診等の質問票や健診結果、レセプト情報等に基づく事業所ごとの健康課題を資料化し、事業所が開催する安全衛生委員会や健康管理担当部署長を訪問し説明を行います。	特定健診等の質問票や健診結果、レセプト情報等に基づく事業所ごとの健康課題を資料化し、事業所が開催する安全衛生委員会や健康管理担当部署長を訪問し説明を行います。	特定健診等の質問票や健診結果、レセプト情報等に基づく事業所ごとの健康課題を資料化し、事業所が開催する安全衛生委員会や健康管理担当部署長を訪問し説明を行います。	特定健診等の質問票や健診結果、レセプト情報等に基づく事業所ごとの健康課題を資料化し、事業所が開催する安全衛生委員会や健康管理担当部署長を訪問し説明を行います。	特定健診等の質問票や健診結果、レセプト情報等に基づく事業所ごとの健康課題を資料化し、事業所が開催する安全衛生委員会や健康管理担当部署長を訪問し説明を行います。	事業所と健康課題を共有し、健康経営を促進する	男性の生活習慣病医療費が高い。 メタボ該当者及び予備軍の割合が高い。 血圧値・血糖値のリスク保持者の割合が高い。 被保険者の歯科医療費が高い。
													県下10JA及び5連合会への説明を必須で行うほか、健康課題が多い事業所を抽出し説明を行います。	県下10JA及び5連合会への説明を必須で行うほか、健康課題が多い事業所を抽出し説明を行います。	県下10JA及び5連合会への説明を必須で行うほか、健康課題が多い事業所を抽出し説明を行います。	県下10JA及び5連合会への説明を必須で行うほか、健康課題が多い事業所を抽出し説明を行います。	県下10JA及び5連合会への説明を必須で行うほか、健康課題が多い事業所を抽出し説明を行います。	県下10JA及び5連合会への説明を必須で行うほか、健康課題が多い事業所を抽出し説明を行います。		
													健康課題説明事業所数(【実績値】18件 【目標値】令和6年度：18件 令和7年度：18件 令和8年度：18件 令和9年度：18件 令和10年度：18件 令和11年度：18件)-	メタボ該当者・予備群の割合(【実績値】22.5% 【目標値】令和6年度：22.0% 令和7年度：22.0% 令和8年度：21.5% 令和9年度：21.0% 令和10年度：20.5% 令和11年度：20.0%)-						
														男性被保険者の喫煙者の割合(【実績値】33.3% 【目標値】令和6年度：32.8% 令和7年度：32.0% 令和8年度：31.5% 令和9年度：31.0% 令和10年度：30.5% 令和11年度：30.0%)-						
													特定保健指導の実施率(【実績値】26.3% 【目標値】令和6年度：30.0% 令和7年度：30.0% 令和8年度：30.0% 令和9年度：30.0% 令和10年度：30.0% 令和11年度：30.0%)-							
加入者への意識づけ																				
特定保健指導 事業	2	既存(法定)	情報提供	全て	男女	39～74	加入者全員	1	ス	-	カ	-	健診・人間ドックを受けた被保険者・被扶養者に情報提供を行い、健康づくりを啓発します。	健診・人間ドックを受けた被保険者・被扶養者に情報提供を行い、健康づくりを啓発します。	健診・人間ドックを受けた被保険者・被扶養者に情報提供を行い、健康づくりを啓発します。	健診・人間ドックを受けた被保険者・被扶養者に情報提供を行い、健康づくりを啓発します。	健診・人間ドックを受けた被保険者・被扶養者に情報提供を行い、健康づくりを啓発します。	健診・人間ドックを受けた被保険者・被扶養者に情報提供を行い、健康づくりを啓発します。	・メタボ該当者・予備群の割合を第3期計画未までに20.0%以下とする ・男性被保険者の喫煙率を第3期計画未までに30.0%以下とする ・被保険者の食事が「噛みにくい・ほとんど噛めない人」の割合を10%以下にする	男性の生活習慣病医療費が高い。 メタボ該当者及び予備軍の割合が高い。 血圧値・血糖値のリスク保持者の割合が高い。 男性被保険者の喫煙率が高い。
													特定健診受診者に対する情報提供の割合(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-	メタボ該当者・予備群の割合(【実績値】22.5% 【目標値】令和6年度：22.0% 令和7年度：22.0% 令和8年度：21.5% 令和9年度：21.0% 令和10年度：20.5% 令和11年度：20.0%)-						
														男性被保険者の喫煙者の割合(【実績値】33.3% 【目標値】令和6年度：32.8% 令和7年度：32.0% 令和8年度：31.5% 令和9年度：31.0% 令和10年度：30.5% 令和11年度：30.0%)-						
														被保険者の食事が「噛みにくい・ほとんど噛めない人」の割合(【実績値】12.0% 【目標値】令和6年度：12.0% 令和7年度：11.5% 令和8年度：11.5% 令和9年度：11.0% 令和10年度：10.5% 令和11年度：10.0%)-						
保健指導 宣伝	2	既存	食に関する啓発活動	全て	男女	6～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	“～ここところからだの健康は大地から～「郷土からの旬・食・彩」”のスローガンを掲げ、県内地場野菜や果物を摂ることの有益性を提唱し、日常生活の中で気楽に取り組める5色の食材を意識した食事のとり方を周知します。	“～ここところからだの健康は大地から～「郷土からの旬・食・彩」”のスローガンを掲げ、県内地場野菜や果物を摂ることの有益性を提唱し、日常生活の中で気楽に取り組める5色の食材を意識した食事のとり方を周知します。	“～ここところからだの健康は大地から～「郷土からの旬・食・彩」”のスローガンを掲げ、県内地場野菜や果物を摂ることの有益性を提唱し、日常生活の中で気楽に取り組める5色の食材を意識した食事のとり方を周知します。	“～ここところからだの健康は大地から～「郷土からの旬・食・彩」”のスローガンを掲げ、県内地場野菜や果物を摂ることの有益性を提唱し、日常生活の中で気楽に取り組める5色の食材を意識した食事のとり方を周知します。	“～ここところからだの健康は大地から～「郷土からの旬・食・彩」”のスローガンを掲げ、県内地場野菜や果物を摂ることの有益性を提唱し、日常生活の中で気楽に取り組める5色の食材を意識した食事のとり方を周知します。	“～ここところからだの健康は大地から～「郷土からの旬・食・彩」”のスローガンを掲げ、県内地場野菜や果物を摂ることの有益性を提唱し、日常生活の中で気楽に取り組める5色の食材を意識した食事のとり方を周知します。	加入者の食生活の改善	男性の生活習慣病医療費が高い。 血圧値・血糖値のリスク保持者の割合が高い。 メタボ該当者及び予備軍の割合が高い。
													広報の回数(【実績値】4回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)-	メタボ該当者・予備群の割合(【実績値】22.5% 【目標値】令和6年度：22.0% 令和7年度：22.0% 令和8年度：21.5% 令和9年度：21.0% 令和10年度：20.5% 令和11年度：20.0%)-						
														被保険者の食事が「噛みにくい・ほとんど噛めない人」の割合(【実績値】4.98% 【目標値】令和6年度：12.0% 令和7年度：11.5% 令和8年度：11.5% 令和9年度：11.0% 令和10年度：10.5% 令和11年度：10.0%)-						
3,4	新規	歯の健康の重要性を啓発	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	機関誌等で、歯の健康の重要性を啓発するとともに、定期的な歯科健診を受けるよう周知する	機関誌等で、歯の健康の重要性を啓発するとともに、定期的な歯科健診を受けるよう周知する	機関誌等で、歯の健康の重要性を啓発するとともに、定期的な歯科健診を受けるよう周知する	機関誌等で、歯の健康の重要性を啓発するとともに、定期的な歯科健診を受けるよう周知する	機関誌等で、歯の健康の重要性を啓発するとともに、定期的な歯科健診を受けるよう周知する	機関誌等で、歯の健康の重要性を啓発するとともに、定期的な歯科健診を受けるよう周知する	機関誌等で、歯の健康の重要性を啓発するとともに、定期的な歯科健診を受けるよう周知する	口腔衛生に関するヘルスリテラシーの向上	被保険者の歯科医療費が高い。 男性の生活習慣病医療費が高い。
												機関誌等での啓発の回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-	被保険者の食事が「噛みにくい・ほとんど噛めない人」の割合(【実績値】4.98% 【目標値】令和6年度：12.0% 令和7年度：11.5% 令和8年度：11.5% 令和9年度：11.0% 令和10年度：10.5% 令和11年度：10.0%)-							
体育奨励	5	既存	体力づくりの推進	全て	男女	6～74	加入者全員	1	ア,エ	-	シ	-	PepUpを活用し、「農団けんぼウォーキングラリー」「事業所独自のウォーキングラリー」を開催し、被保険者の運動習慣化を支援する	PepUpを活用し、「農団けんぼウォーキングラリー」「事業所独自のウォーキングラリー」を開催し、被保険者の運動習慣化を支援する	PepUpを活用し、「農団けんぼウォーキングラリー」「事業所独自のウォーキングラリー」を開催し、被保険者の運動習慣化を支援する	PepUpを活用し、「農団けんぼウォーキングラリー」「事業所独自のウォーキングラリー」を開催し、被保険者の運動習慣化を支援する	PepUpを活用し、「農団けんぼウォーキングラリー」「事業所独自のウォーキングラリー」を開催し、被保険者の運動習慣化を支援する	PepUpを活用し、「農団けんぼウォーキングラリー」「事業所独自のウォーキングラリー」を開催し、被保険者の運動習慣化を支援する	健康情報提供ツール「PepUp」を活用し、運動が習慣化されている人を増加させる	男性の生活習慣病医療費が高い。 メタボ該当者及び予備軍の割合が高い。
													ウォーキングラリー参加率(【実績値】13.0% 【目標値】令和6年度：14.0% 令和7年度：14.0% 令和8年度：15.0% 令和9年度：15.0% 令和10年度：16.0% 令和11年度：16.0%)-	運動習慣がない人の割合(【実績値】80.9% 【目標値】令和6年度：80.0% 令和7年度：79.0% 令和8年度：78.0% 令和9年度：77.0% 令和10年度：76.0% 令和11年度：75.0%)-						
個別の事業																				

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査一部負担金の交付	全て	男女	39～74	加入者全員	1	ア,サ	-	ア,カ	-	特定健康診査の受診者に費用の一部を交付します。また、パート先等での受診者には、結果提供を呼びかけます。	特定健康診査の受診者に費用の一部を交付します。また、パート先等での受診者には、結果提供を呼びかけます。	特定健康診査の受診者に費用の一部を交付します。また、パート先等での受診者には、結果提供を呼びかけます。	特定健康診査の受診者に費用の一部を交付します。また、パート先等での受診者には、結果提供を呼びかけます。	特定健康診査の受診者に費用の一部を交付します。また、パート先等での受診者には、結果提供を呼びかけます。	特定健康診査の受診者に費用の一部を交付します。また、パート先等での受診者には、結果提供を呼びかけます。	特定健康診査の受診率は第3期計画未まで85.0%以上を維持する	被扶養者の特定健康診査の受診率が低い。
													特定健診実施率(【実績値】87.1% 【目標値】令和6年度：87.3% 令和7年度：87.3% 令和8年度：87.3% 令和9年度：87.3% 令和10年度：87.3% 令和11年度：87.3%)-	被扶養者の特定健康診査の受診率(【実績値】41.3% 【目標値】令和6年度：41.3% 令和7年度：41.3% 令和8年度：41.3% 令和9年度：41.3% 令和10年度：41.3% 令和11年度：41.3%)-						
特定保健指導事業	4	既存(法定)	保健師による特定保健指導の実施	全て	男女	39～74	加入者全員	1	オ	-	ア,ウ,カ,ケ	-	特定保健指導の対象者に、保健師が特定保健指導を実施し、生活習慣の改善を支援する(一部、外部委託)	特定保健指導の対象者に、保健師が特定保健指導を実施し、生活習慣の改善を支援する(一部、外部委託)	特定保健指導の対象者に、保健師が特定保健指導を実施し、生活習慣の改善を支援する(一部、外部委託)	特定保健指導の対象者に、保健師が特定保健指導を実施し、生活習慣の改善を支援する(一部、外部委託)	特定保健指導の対象者に、保健師が特定保健指導を実施し、生活習慣の改善を支援する(一部、外部委託)	特定保健指導の対象者に、保健師が特定保健指導を実施し、生活習慣の改善を支援する(一部、外部委託)	特定保健指導の実施率を第3期計画未までに30.0%以上とする	血圧値・血糖値のリスク保持者の割合が高い。 メタボ該当者及び予備軍の割合が高い。
													特定保健指導実施率(【実績値】26.3% 【目標値】令和6年度：30.0% 令和7年度：30.0% 令和8年度：30.0% 令和9年度：30.0% 令和10年度：30.0% 令和11年度：30.0%)-	特定保健指導対象者割合(【実績値】18.3% 【目標値】令和6年度：18.0% 令和7年度：18.0% 令和8年度：18.0% 令和9年度：18.0% 令和10年度：18.0% 令和11年度：18.0%)-						
														特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：0.3% 令和7年度：0.3% 令和8年度：0.3% 令和9年度：0.3% 令和10年度：0.3% 令和11年度：0.3%)-						
														腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：10.0% 令和7年度：10.0% 令和8年度：10.0% 令和9年度：10.0% 令和10年度：10.0% 令和11年度：10.0%)-						
保健指導宣伝	2,5	既存	新採用者への健康教育	全て	男女	15～74	被保険者	2	ス	-	コ	-	新採用者を対象に、生活習慣病や口腔衛生を始め、健康全般に関する教育を行います	新採用者を対象に、生活習慣病や口腔衛生を始め、健康全般に関する教育を行います	新採用者を対象に、生活習慣病や口腔衛生を始め、健康全般に関する教育を行います	新採用者を対象に、生活習慣病や口腔衛生を始め、健康全般に関する教育を行います	新採用者を対象に、生活習慣病や口腔衛生を始め、健康全般に関する教育を行います	新採用者を対象に、生活習慣病や口腔衛生を始め、健康全般に関する教育を行います	生活習慣病や歯周疾患の発症及び重症化を予防する。	血圧値・血糖値のリスク保持者の割合が高い。 男性被保険者の喫煙率が高い。 被保険者の歯科医療費が高い。
													10JAへの実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-	メタボ該当者・予備群の割合(【実績値】22.5% 【目標値】令和6年度：22.0% 令和7年度：22.0% 令和8年度：21.5% 令和9年度：21.0% 令和10年度：20.5% 令和11年度：20.0%)-						
														男性被保険者の喫煙者の割合(【実績値】33.3% 【目標値】令和6年度：32.8% 令和7年度：32.0% 令和8年度：31.5% 令和9年度：31.0% 令和10年度：30.5% 令和11年度：30.0%)-						
														被保険者の食事が噛みにくい・ほとんど噛めない人の割合(【実績値】12.0% 【目標値】令和6年度：12.0% 令和7年度：11.5% 令和8年度：11.5% 令和9年度：11.0% 令和10年度：10.5% 令和11年度：10.0%)-						
1,5	既存	個人向け禁煙プログラムの実施	全て	男女	20～74	被保険者	3	ア,エ,ス	-	ア,コ	-	外部委託によるITCツールを利用した「オンライン禁煙プログラム」を実施し、個人への禁煙支援を実施します。また、事業所の禁煙対策の取組を支援します。	外部委託によるITCツールを利用した「オンライン禁煙プログラム」を実施し、個人への禁煙支援を実施します。また、事業所の禁煙対策の取組を支援します。	外部委託によるITCツールを利用した「オンライン禁煙プログラム」を実施し、個人への禁煙支援を実施します。また、事業所の禁煙対策の取組を支援します。	外部委託によるITCツールを利用した「オンライン禁煙プログラム」を実施し、個人への禁煙支援を実施します。また、事業所の禁煙対策の取組を支援します。	外部委託によるITCツールを利用した「オンライン禁煙プログラム」を実施し、個人への禁煙支援を実施します。また、事業所の禁煙対策の取組を支援します。	外部委託によるITCツールを利用した「オンライン禁煙プログラム」を実施し、個人への禁煙支援を実施します。また、事業所の禁煙対策の取組を支援します。	男性被保険者の喫煙率を減少	男性被保険者の喫煙率が高い。	
												禁煙プログラムの参加者数(【実績値】3人 【目標値】令和6年度：20人 令和7年度：20人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：20人 令和11年度：20人)-	男性被保険者の喫煙者の割合(【実績値】33.3% 【目標値】令和6年度：32.8% 令和7年度：32.0% 令和8年度：31.5% 令和9年度：31.0% 令和10年度：30.5% 令和11年度：30.0%)-							
1,2,3,4	既存	口腔衛生教育の実施	全て	男女	0～34	被保険者	1	ス	-	ク	-	新卒者や34歳の被保険者等に、保健師が口腔衛生教育を行う。事業所が行う歯科健診事業や外部委託による歯科健診へ助成を行う。また、健康診断の間診票データを活用したハイリスク者へ歯科健診受診勧奨通知を送付する	新卒者や34歳の被保険者等に、保健師が口腔衛生教育を行う。事業所が行う歯科健診事業や外部委託による歯科健診へ助成を行う。また、健康診断の間診票データを活用したハイリスク者へ歯科健診受診勧奨通知を送付する	新卒者や34歳の被保険者等に、保健師が口腔衛生教育を行う。事業所が行う歯科健診事業や外部委託による歯科健診へ助成を行う。また、健康診断の間診票データを活用したハイリスク者へ歯科健診受診勧奨通知を送付する	新卒者や34歳の被保険者等に、保健師が口腔衛生教育を行う。事業所が行う歯科健診事業や外部委託による歯科健診へ助成を行う。また、健康診断の間診票データを活用したハイリスク者へ歯科健診受診勧奨通知を送付する	新卒者や34歳の被保険者等に、保健師が口腔衛生教育を行う。事業所が行う歯科健診事業や外部委託による歯科健診へ助成を行う。また、健康診断の間診票データを活用したハイリスク者へ歯科健診受診勧奨通知を送付する	新卒者や34歳の被保険者等に、保健師が口腔衛生教育を行う。事業所が行う歯科健診事業や外部委託による歯科健診へ助成を行う。また、健康診断の間診票データを活用したハイリスク者へ歯科健診受診勧奨通知を送付する	歯周疾患の発症及び重症化予防	血圧値・血糖値のリスク保持者の割合が高い。 被保険者の歯科医療費が高い。	
												対象者に対する実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-	被保険者の食事が噛みにくい・ほとんど噛めない人の割合(【実績値】12.0% 【目標値】令和6年度：12.0% 令和7年度：11.5% 令和8年度：11.5% 令和9年度：11.0% 令和10年度：10.5% 令和11年度：10.0%)-							
2,5	既存	34歳への健康教育	一部の事業所	男女	34～34	被保険者	1	ス	-	ア,コ	-	特定健診の前段となる34歳の被保険者に対し、生活習慣病予防教育を行い、セルフケアによる発症予防・重症化予防を促進する	特定健診の前段となる34歳の被保険者に対し、生活習慣病予防教育を行い、セルフケアによる発症予防・重症化予防を促進する	特定健診の前段となる34歳の被保険者に対し、生活習慣病予防教育を行い、セルフケアによる発症予防・重症化予防を促進する	特定健診の前段となる34歳の被保険者に対し、生活習慣病予防教育を行い、セルフケアによる発症予防・重症化予防を促進する	特定健診の前段となる34歳の被保険者に対し、生活習慣病予防教育を行い、セルフケアによる発症予防・重症化予防を促進する	特定健診の前段となる34歳の被保険者に対し、生活習慣病予防教育を行い、セルフケアによる発症予防・重症化予防を促進する	生活習慣病の発症及び重症化予防	男性の生活習慣病医療費が高い。 血圧値・血糖値のリスク保持者の割合が高い。 被保険者の歯科医療費が高い。 メタボ該当者及び予備軍の割合が高い。	

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
実施希望事業所に対する実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												メタボ該当者・予備群の割合(【実績値】22.5% 【目標値】令和6年度：22.0% 令和7年度：22.0% 令和8年度：21.5% 令和9年度：21.0% 令和10年度：20.5% 令和11年度：20.0%)-							
2,4	既存	血糖値・血圧値の基準超過者の指導	全て	男女	16～74	被保険者	1	オ,ス	-	コ	-	一般健診を受けた被保険者で、血糖値または血圧値のいずれかが高い者に対し、生活習慣改善等の指導を行う	一般健診を受けた被保険者で、血糖値または血圧値のいずれかが高い者に対し、生活習慣改善等の指導を行う	一般健診を受けた被保険者で、血糖値または血圧値のいずれかが高い者に対し、生活習慣改善等の指導を行う	一般健診を受けた被保険者で、血糖値または血圧値のいずれかが高い者に対し、生活習慣改善等の指導を行う	一般健診を受けた被保険者で、血糖値または血圧値のいずれかが高い者に対し、生活習慣改善等の指導を行う	一般健診を受けた被保険者で、血糖値または血圧値のいずれかが高い者に対し、生活習慣改善等の指導を行う	高血糖・高血圧のリスク者の低減	血圧値・血糖値のリスク保持者の割合が高い。 男性の生活習慣病医療費が高い。
対象者に対する実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												メタボ該当者・予備群の割合(【実績値】22.5% 【目標値】令和6年度：22.0% 令和7年度：22.0% 令和8年度：21.5% 令和9年度：21.0% 令和10年度：20.5% 令和11年度：20.0%)-							
-												高血糖者の割合(【実績値】1.57% 【目標値】令和6年度：1.56% 令和7年度：1.55% 令和8年度：1.54% 令和9年度：1.53% 令和10年度：1.52% 令和11年度：1.51%)-							
-												高血圧者の割合(【実績値】1.62% 【目標値】令和6年度：1.61% 令和7年度：1.60% 令和8年度：1.59% 令和9年度：1.58% 令和10年度：1.57% 令和11年度：1.56%)-							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施  
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築  
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他